

(1) 令和8年6月7日執行

中野区長選挙 選挙公報

中野区選挙管理委員会



無所属
よし だ こういちろう
吉田 康一郎
59歳

みんなで中野を新時代へ!

中野生まれ。障害を持つ弟と中野で育ち、あるべき政治と行政を考え続けてきました。都議2期、区議2期、元サラリーマン、国会議員政策秘書などの経験と蓄積も最大限に活かし、完全無所属の立場で、新時代の中野を皆様とつくり、次の世代に繋いで参ります。

政党に縛られず
声を上げて参りました!
完全無所属

育児支援と防災緑地と
平らな歩道の中野を創る会

プロフィール
●昭和42年 中野生まれ
●ほぜんじ幼、桃二小、慶応普通部、同高校、慶大経卒
●経団連11年勤務 ■元法務大臣政策秘書
●東京都議会議員2期
●平成24年 衆院選、4万5556票を頂く
●平成30年 中野区長選、1万4534票を頂く
●令和元年～ 中野区議会議員2期
●薬師柳通り親交会・高新会(商店街) 会長
●桃園第二小学校同窓会 副会長
●アジア自由民主連帯協議会 副会長
●国民の知る権利を守る自由報道協会 理事
●座右の銘:「信なくば立たず」

私たちが推薦します!
特定失踪者問題調査会代表 荒木 和博
慶大特別教授・元空母 織田 邦夫
作家・ジャーナリスト 門田 隆将
見守り隊副隊長 日本会議会長 櫻井よしこ
谷口 智彦
西岡 力
経済安全保障アナリスト 平井 宏治
百地 章
山上 信吾

- ① なぜ売却? 中野駅前の一等地
サンプラザ・旧区役所の土地は売れません!
現区長は、跡地を民間事業者への売却に固執。しかも、なぜか買取価格が80億円も安い事業者を選定しました。
吉田康一郎は、区有地を売却せず、区が土地を保持したまま、定期借地方式等で民間活力を活かした再開発へ見直します。
 - ② よりの確な子育て支援に!
中野の出生率も出生数も下がり続けています。
0歳児保育は定員割れ。「預ける」への支援だけでは不十分。「産み育てる」全体への支援が必要です。
 - ③ 一人当たり緑地面積 都内ワースト2
中野の川沿いを都立の公園に。
震災・水害・暑熱対策となる防災緑地の整備。
 - ④ 都内で最も道が狭い中野区
狭い道を拡げ、歩道をバリアフリーに。
自転車レーンも分かりやすく。
 - ⑤ 民泊による問題が増加しています
不法民泊による住民への迷惑をストップ!
民泊条例と旅館条例を強化します。
- 地域の安全、まちづくり、医療、福祉、見守り、若者支援など、しっかりと取り組んで参ります。

ケンコートキナー山中徹会長及び全てのの中野区民の皆様へ。

- 1. 無税国家の実現**
ドバイのように所得税・住民税ゼロ。松下幸之助氏の理念。少なくとも法人税はジョージア採用のエストニア方式を。
 - 2. 一刻も早い憲法改正**
数十年憲法を変えない国は日本だけ。維新の比例定数削減は官僚天国と独裁への悪魔の道。「一院制」など時代に即した統治機構へ。
 - 3. 浮世離れした裁判所の改革**
法曹一元、最高裁判事への40代登用、外部学者・弁護士による調査官制度の確立。最高裁判務総局主導の人事体制を打破。
 - 4. 武器輸出を含むまともな兵器調達行政**
敗戦国ドイツは世界4位の武器輸出国。高市政権の安全保障政策の方向性自体は正しい。
- 理念・政策全体はWebで

主要政策4本柱 《中野から日本を変える。》

私は、東大総代卒のIT創業家・山中裕氏主宰「無税国家アカデミー」でジョージアの最先端農業・代理出産病院・医学部設立等の革命的挑戦に感銘を受けました。円安下にも月五千億円のガソリン減税を続ける高市政権、減税ポピュリズム一色の野党。日本版トラスシヨック前夜の衆愚政治に未来なし。法人税は下げた方が増収増税が実務家の常識。社会保障財源として消費税は必要と国民を説得すべきところ、減税ポピュリズムに溺れた与野党政治家は切腹、全員辞職すべき。

HOYAをめぐる戦いと司法の闇
鈴木洋氏は学業・素行に問題を抱え、米国時代のベンチャー失敗や約一千億円損失のペンタックス買収など失策続き。一方、山中徹氏の株主提案は世界的医療技術の礎に。山中徹氏の一千億円超の資産の大半は山中裕氏が鈴木洋氏の出鱈目な買収を止めさせた貢献によるもので、みずほ銀行の言いなりな不動産投資。ジョージアのビジナ・イヴァニシヴィリ元首相を見習うべき。裁判所は天下りと組織論で違法な株主権侵害を黙認。大門匡・菊池洋一ら裁判官の退官後の天下り構造は歪んでいます。

私の訴え
山中徹氏の経済的援助により、中野サンプラザ跡地をブルジュ・ハリファ超の世界一の高層ビルに建替え、ケンコートキナーの世界最大プラネタリウムを誘致。グローバル企業を集め、エストニア・ジョージアの簡易税制で、中野区を法人税・所得税・住民税ゼロの経済特区にします。



無所属
あきいけ 幹雄
みきお

All中野 つながりが活力を生むまち、中野。

- 中野区長として2期8年働いてきました
- 子ども・若者にやさしいまち**
●子育て先進区を目指し、日経共働き
子育てしやすい街ランキング順位上昇
●子どもの権利に関する条例制定
●子ども・若者の意見反映の推進
●学校給食費、修学旅行無償化など学校教育の費用負担軽減
●学校の改築と改修促進 ●区独自の給付型奨学金
●常設プレパーク開設 ●英語教育の強化 ●不登校・いじめ対策強化 など
- 高齢者・困っている方にやさしいまち**
●認知症対策や介護予防の推進 ●高齢者補聴器購入費用助成
●産学公連携による地域包括ケア推進 ●重度障害者グループホーム等推進
●区立保育園・児童クラブでの医療的ケア受け入れ など
- 安全で活力のあるまちづくり**
●公契約条例制定 ●受動喫煙防止対策 ●防災・減災の推進 ●DX推進
●ペットの同行・同伴避難の推進 ●気候区民会議の実施 ●文化芸術体験の充実 など
- 区民のみなさんとともに汗をかく区役所に**
●なかのデジタルプラットフォーム整備
●地域に飛び出す公務員の養成 など

- 子どもにもやさしいまちへ**
- 産前・産後ケアのさらなる充実(1歳以降も手厚く)
 - 子どもの貧困・ひとり親支援の充実
 - 中高生専用施設の整備と地域の中高生の居場所の充実
 - 北部のフリーステップルームの設置(不登校支援)
 - 南部の常設プレーパークの設置検討 など
- 困っているひとにやさしいまちへ**
- 物価高騰対策の推進 ●児童発達支援の強化
 - 健康施策の推進(スマートウェルネスシティの実現)
 - 孤独・孤立対策の推進
 - 介護する人もされる人も支える仕組みづくり
 - 18歳以降も切れ目のない障害児者支援の充実 など
- 安全で活力のあるまちへ**
- 区民との対話に基づく区役所サンプラザ地区再整備推進
 - 歩きたくなるまちづくりの推進(みどりの創出ベンチの設置)
 - 区立公園再整備の推進 ●桃園川緑道の魅力向上
 - 受動喫煙防止対策の推進 ●新たなドッグランの設置
 - 地域防災機能の向上 など
- プロフィール** 1971年10月14日生まれ。小学5年生のときに両親が離婚。シングルマザーの家庭で育つ中で弱者のために働くことを志す。早稲田大学大学院法学研究科修了後、中野区役所入区。広報担当課長、地域包括ケア課長を歴任。区役所の組織風土改革に継続的に取り組むも、一職員としての立場に限界を感じ2018年、区長選挙へ立候補。現在2期目。A型/てびん座/亥年 趣味:料理、トロンボーン 家族:妻、娘(高2)、丸(3歳・犬) 第一回中野区検定1級、中野区ものしり博士。
- 詳しい政策などはHPをご覧ください <https://sakainaoto.hatenablog.com>



無所属
酒井直人
さかい なおと

(この選挙公報は、中野区議会議員及び区長の選挙における選挙公報の発行に関する条例第5条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)

中野区長選挙

選挙公報

中野区選挙管理委員会

利権に屈しない飾らない区民のための政治を 追隨者になるな、「挑戦者」であれ

中野サンプラザ残す！改修・早期稼働

建て替えを断って、安易にどこにでもあるような建物を建ててしまえば、他地域との差別化ができない。集客を考えると近隣区との差別化は必須だ。中野区にとって、重要な場所だからこそ、慎重にならないといけない。かと言って慎重になりすぎて、廃墟のように放置することが良いことだとも思わない。まずは中野サンプラザを再整備し、時間をかけて「次にどうするか」を検討していくべきだ。

採算性がとれただけでも住宅としての住み方には反対する
外国資本に中野サンプラザの土地が買われるように守る
早期に老朽化調査の実施。区民のための運営をする
頑固する計画にはNOを！ 文化的扱いも検討する

財政・行政改革

- ・全ての制度の受給率を上げ、区民利益最大化
- ・中小企業に仕事のチャンス。戦争資料の海外移管問題
- ・少額随意契約の透明化・中間マージンの排除
- ・国民健康保険滞納外国人への対応（前納方式導入）
- ・日本人より外国人が優遇される制度には反対

教育・子供関係

- ・いじめ対策 寝屋川モデルの導入
- ・通称促進チラシ（子どもSOS）・ヤングケアラー問題
- ・修学旅行などの無償化について見直し
- ・教師の人手不足や生徒の個性が尊重されていない状態でのインクルーシブ教育には反対

福祉・地域共生

- ・中野区営住宅（浴槽、給湯器など設置）
- ・バリアフリー先進区へ・ピンク盆踊り反対
- ・家族難民問題（身寄りのない高齢者）への対応
- ・中野区の困りごとの解決策を研究・提言する場所設置
- ・AED設置、AED使用者のケア・自撮り営業への対応

環境問題・災害対策

- ・民泊問題（闇民泊・騒音・ゴミ問題など）
- ・河川の悪臭とヘドロ問題・アメリカンサイシロア対策
- ・無電柱化、帰宅困難者対策・ペットの避難場所確保
- ・避難所問題（性犯罪・冤罪の阻止、独身者への配慮など）
- ・2040年問題に向けたインフラと人口構造の準備

区長としての考え

これから来る人よりも、今いる区民のために「近き者説（よるこ）へは、遠き者来（きたる）」という「論語」孔子の言葉がある。近くにいる人々が喜び、その良い評判を聞きつけて遠くから人が集まってくるという意味だ。つまり、中野区民のことを第一に考えていれば、自然と人々が集まってくるということだ。中野区に住んでいる人たちのために税金は使われるべきで、今後中野区に住む人、つまり、まだ中野区に住んでいない人たちのために特別な政策は考えない。「これから来る人よりも、今いる区民のために」この考えが基本となる。

区長よりも区民の声を優先せよ
「区長の考えを優先すること」が良いわけではない。「正しい考えを優先すること」そしてそれによって区民が幸せになることが最も重要である。「区長が言っているからやる」ではなく、「区長に文句を言っても区民の為の政策を提案するぞ」という熱心な職員がこれからの時代には必要だ。それができるよう限りなく風通しを良くしたいと考えている。

プロフィール

兵庫県出身。私立白陵高校卒業・遊賀大学経済学部経済学科卒業
2021年～2024年10月 株式会社ニフコ（退職済み）
2024年10月に第50回衆議院選挙に落選 2025年6月東京都議会選挙中野区で落選。都議選直後に政治の道と表明したが、多くの再挑戦を望む声を受け、せめて傍聴してから今後について考えようと思い、区議会の傍聴を開始。2025年7月～中野区議会の傍聴をする等、勉強に励む。YouTubeで発信。現区政に対する区民の切実な声や不安を肌で感じ、出馬の意思を固める。

これまでの政策

前々衆議院選挙「外国人への土地売買の規制」「食料自給自足」
前都議会選挙「東京都プロジェクトマネジメントの廃止」「天下りの排除」

企業・団体・個人献金、寄付は一切受け取っていません

献金をした企業・団体を優遇するなど、企業・団体献金は政治をゆがめる恐れがある。また、献金・寄付は政治家の金銭感覚を狂わせる要因の一つであると考えている。お金の重みやありがたみを失わないために、社会人時代に汗水たらして稼いだお金のみで戦う。



石倉

こうじろう

中野を世界一の子育て・文化のまちに。

— 次の世代へ、次の中野へ。 —

世界一と誇れる
中野への
4つの
約束

森川たけひろ

プロフィール
中野区松が丘在住。
31歳、1児の父。
大手監査法人職員。
▶東京都市大学工学部、北海道大学公共政策大学院修了。
▶株式会社富士通総研を経て現職。
▶北海道大学公共政策学研究センター研究員や京都大学医学系研究科研究協力員等を歴任。



公式 HP



公式 Instagram

POLICY 01 中野だけの、中野らしい子育て・教育環境をつくる

- ▶子供の塾や習い事に年12万円の補助、現状の子育て支援は維持
- ▶科学や芸術を楽しく学べるSTEAM教育と中野を題材にした探求学習を推進
- ▶マンガ・アニメ・音楽・ゲーム・お笑い等を学べる放課後ラボを整備
- ▶北欧玩具メーカーと連携した室内型の遊び場を整備
- ▶病児保育・学童保育の拡充と、多子世帯・障がい児家庭への支援を強化

POLICY 03 サンプラザを残し、世界が憧れる現代日本文化の中心地へ

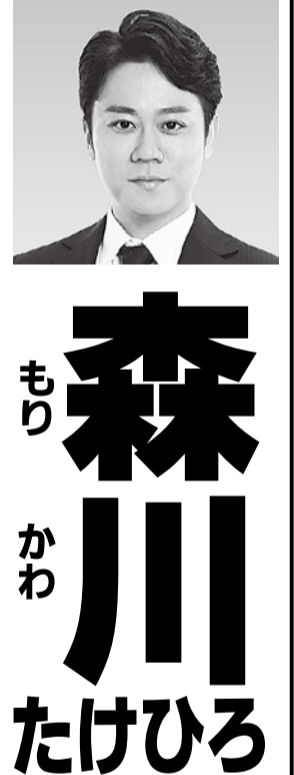
- ▶サンプラザを中野のシンボルとして残し、アート・音楽・エンタメの発信拠点へ再生
- ▶ホテル、ライブハウス、ポップアップイベント等により、収益性も確保
- ▶街なかでの作品展示、音楽・漫才ライブを定期開催
- ▶アーティスト・クリエイターの交流や生活支援、起業や海外展開を推進

POLICY 02 多様で稼げる地域を育て、国内外に魅力を発信

- ▶テレビ局・芸能事務所等と連携し、商店街や区内事業者の魅力を全国・世界へ発信
- ▶区内での飲み会や体験に3万円の補助
- ▶出版社等と連携し、漫画・ライトノベル専門の図書館を整備
- ▶魅力ある個店・飲食店・食料品店等呼び込み、まち歩きと地域消費を促進
- ▶LGBTQ+や女性への支援、介護・福祉体制の強化
- ▶ペットと過ごせる公園・飲食店の拡大、50代以上の再就職支援や予防医療を推進

POLICY 04 民間視点で、ムダを見直し、財源をつくる

- ▶区長退職金1600万円を廃止
- ▶ふるさと納税で、区内アーティストやクリエイターの作品を全国に発信
- ▶寄附者を中野の応援者・パトロンとして認定し、継続的な来訪と支援を生み出す
- ▶253の公共施設は、定期借地や民間の知恵・運営ノウハウを活用し、年間115億円の更新経費を抑え、サービス品質を高める



森川

たけひろ

投票日 6月7日（日）

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票日に仕事や用事がある方は期日前投票を

- ◆期日前投票期間 6月1日(月)～6月6日(土)午前8時30分から午後8時まで
- ◆期日前投票所 中野区役所、南部すこやか福祉センター、
東部・江古田・野方・鷺宮区民活動センター

※投票日当日は、入場整理券の表面に記載された投票所以外での投票はできません。